

2025年度

学校名 相模原市立富士見小学校

対象学年 3学年

1 学習指導案

プログラム	No.1 「ひそんでいるぞ!カオ・かお・顔」 No.4 「まちの色・いろいろ」
単元名 (全 時間)	『つながる 富士見の「わ」～アートでみんなをスマイルに～』 全70時間
学習のねらい	アート活動で校内や地域との関わる活動を通して、地域の一員として、まちづくりや地域に関わる活動や取組を知り、相手や目的に応じて、アートで表現することができ、協働してアートを通した人のつながりの良さを伝えようとするができるようにする。
学習内容	1 校内をアート活動をする。(四季で変化する階段アート、お絵描き会の実施) → 児童自らも楽しみ、誰かを楽しませる体験をする。 2 地域でアートを広める方との交流をする。 → 路上アートの描き方、アートの考え方を知る。 → 同じ絵でも見方を変える(「ひそんでいるぞ!カオ・かお・顔」)、描き続けることで絵が変化していく経験をする。 3 地域のイベントや市役所に作品を展示する。 → 景観を生かした作品づくりをし、周りの場が明るくなったり、華やかになったりする体験をする。(「まちの色・いろいろ」) → 地域の人が自分たちの活動によって少しでも笑顔になってもってもらえることで、児童が学びの充実感を感じる。まちに愛着をもつ。 4 校内や地域でアートイベントを行う。 → アート活動で人と人をつなぎ、『富士見の「わ(輪・和・話)」』を広げる。 → 児童に校内や地域へ発信する力を養う。
参考資料 準備品 実施場所等	準備物：絵の具、筆、ペン、紙類、ボンド、のり、ペーパークロス、階段アート用シール等 実施場所：校内、公民館、市役所、商業施設

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
3	探究テーマを決めよう。	テーマになり得るキーワードを引き出す。 1学期の具体的な活動をしぼる。	
2	学級目標を作ろう。 クラスキャラクターのサンサンを決めて描こう。	アート活動の導入として学級目標を児童が主体的に作成できるように児童が考えたキャラクターから選び、絵を仕上げる。	
8×4 (活動を4回実施)	階段アートをしよう。 校内で階段アートを行い、実施後は他児童にアンケートを行い、分析する。	学級児童が全員参加できるように、担当などを決め、支援する。 ※季節ごとに階段アートの絵柄を変えていく。	インタビューやアンケートなどの情報収集の方法や、その整理・分析の仕方やまとめ方を身に付け、実施している。【知・技】
6	アートを楽しむ「お絵かき会」を開く。参加者にアンケートを実施する。	自他ともに楽しいと思える活動を考えていけるように支援する。アンケート結果から次の課題をより良くしていけるよう、児童と一緒に考える。	

5	アート活動と地域をつないでいる人に話を聞き、つながる富士見の『わ』を深める。学んだアートへの考え方、多様性、可能性を整理する。ゲストティーチャーと路上アートをし、アートの愉しさ、自由さ等を体感する。	障がい、年齢等関係なく、誰でも愉しめるアート活動について考えるようにゲストティーチャーを連携を取る。	アート活動について、まちづくりや地域に関わる活動に取り組んでいる人々の思いを知る。【知・技】
10	地域のイベントに参加する。(公民館主催の祭り、商業施設、市役所にて展示) 各々、アンケートを実施し、参加者の声を知る。地域に関われたことを実感し、さらに富士見の『わ』を広げ、学校と地域みんなが笑顔でつながる方法を考える。	市役所の方に地域の特徴を伝えてもらう。その内容を生かした需要のある参加型路上アートの作成を児童主導のもと実施していくようにする。公民館と市役所はイベント開催中に展示を見学できるようにし、お客さんの様子や生の声を大切に扱う。	アート活動の目的に応じて、適切な調査の対象や方法を考え、自分たちの身近なところから情報を集めている。【思・判・表】 自分と地域とのつながりに気づき、積極的に地域活動に参加しようとしている。【主】
12	みんなとアートフェスティバルをする。(児童主催) 学校で伐採された木の廃材アート、毛糸を活用したアート、路上アート、ゴミを活用したアートを校内で実施する。	児童に富士見の『わ』を広げ、みんなを笑顔に導くことができたかを問う。児童自らが成長を感じ、次学年へつなげていけるように1年間で学習した内容を生かしたイベントを児童主催で実施できるように助言、支援する。	問題の解決に向けて目的意識をもち、友達と力を合わせて探究的に学習に取り組んでいる。【主】 アート活動に関する関心や思いから課題を設定し、富士見小や地域みんなを笑顔にするというゴールイメージを共有し、事実的な根拠に基づいて解決方法を考え、追究している。【思・判・表】

<留意点>

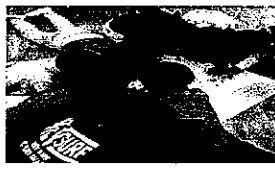
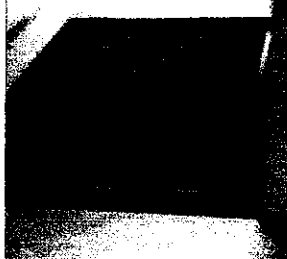


地域の施設でアート活動をする場合は事前に連絡を取り、承諾をいただく。

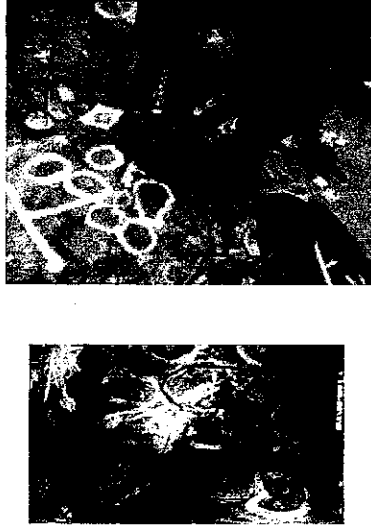

アートのどの分野(絵画・工作・造形など)を行うかで準備物が異なるため、児童の考えに沿って準備物を用意する。



2 事業実施報告書詳細

学校名 相模原市立富士見小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
3	教室	探究テーマを決めよう。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートなら野球観戦で階段アートを見たことがあるよ。</li> <li>・地域に関わることをしたい。</li> <li>・学校や地域を笑顔にしたい。</li> </ul>

2	教室	学級目標を作ろう。 クラスキャラクターのサンサンを決めて描こう。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートを愉しもう！</li> <li>・クラスキャラクターをみんなで選ぼうよ。</li> </ul>
8×4 (計3 2)	校内の階段	階段アートをしよう。 校内で階段アートをを行い、実施後は他児童にアンケートを行い、分析する。 普段の階段が楽しくなる、ちょっとした工夫で景観が変わる経験をする。	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節で変えたら、みんなが喜んでくれるかも。</li> <li>・シールが取れやすいから取れないようにしたいな。 →教材会社さんに聞いてみよう。</li> <li>・夏の反省を生かして秋はシールの貼り方を工夫しよう。</li> <li>・アンケート結果から「普段見る階段とは違って、元気がわく。」と答えてくれた人がいたね。笑顔が増えてくれて嬉しいな。</li> </ul>
6	校内の屋外	アートを楽しむ「お絵かき会」を開く。参加者にアンケートを実施する。		<p>①自分達が実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい！</li> <li>・この楽しさを伝えたい！</li> </ul> <p>②学校に呼びかけた「お絵描き会」の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが楽しそうで、喜んでくれて、私達も嬉しい。</li> <li>・もっとアートの楽しさを地域に広めたいな。</li> </ul>

5	校内の屋外	<p>アート活動と地域をつないでいる人に話を聞き、つながる富士見の『わ』を深める。学んだアートへの考え方、多様性、可能性を整理する。ゲストティーチャーと路上アートをし、アートの楽しさ、自由さ等を体感する。</p> <p>上から見たり、下から、横から見て、何に見えるかを問いながら、作品を仕上げていく。（「ひそんでいるぞ！カオ・かお・顔」）</p> <p>ハートに顔を描いています→</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートは自遊（自由）なんだ！</li> <li>・アートは何でもありなんだ！</li> <li>・アートに失敗はないんだ！</li> <li>・作品がどんどん変身していく！</li> <li>・楽しもう！！</li> </ul>
10	校内 公民館 商業施設 市役所	<p>地域のイベントに参加する。（公民館主催の祭り、商業施設、市役所にて展示）各々、アンケートを実施し、参加者の声を知る。地域に関われたことを実感し、地域とアートの融合による地域の景観を好きになり、学校と地域のみんなが笑顔でつながる方法を考える。</p> <p>商業施設での展示：ゲストティーチャーとつくったアート作品、路上アートを展示しました。→</p> <p>市役所ロビーに鮮やかで明るい作品が！！地域の景観を意識して、相模原市や中央区のよさや特徴（例：自然、市の花、神社、公園、芸術品等）をたくさん描きました！→</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の階段が、相模原市の特徴を書き込んだ階段アートに大変身！家族で公民館へ見に行こう。</li> <li>・イベントでは、赤ちゃんから大人まで多くの人がいたな。地域にアートを広められたかな。</li> <li>・市役所に来る方に参加型アートを実施して、中央区の良さや特徴をたくさん書き込んでもらって嬉しいな。</li> </ul>

		題名「相模原市中央区15周年を祝う作品」を展示しました。→		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わあー私達の作品が市役所に！市役所がより身近に感じたな。</li> <li>・参加者の書き込みをみて相模原市が好きになったな。</li> <li>・参加者の人が「楽しめた。」と言ってたのを聞いて、地域にアートの楽しさを広められたな。</li> </ul>
1 2	校内の屋外	みんなとアートフェスティバルをする。(児童主催)学校で伐採された木の廃材アート、毛糸を活用したアート、路上アート、ゴミを活用したアートを校内で実施する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来てくれた人が笑顔になってくれて、嬉しい。</li> <li>・アートで笑顔の「わ」が広がったな。</li> </ul>

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムに無理やり児童の思考を当てはめるのではなく、児童の活動のタイミングを見て、プログラムの内容を提示した。</li> <li>・地域の景観に関わる場で発想豊かなアート作品を展示していくことを構想し、イベントや市役所の関係者の方と連絡を取る。</li> </ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観とどのようにアートに関わらせていくか。</li> <li>・児童の発想と教員の構想の差。</li> </ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートの多様性を知り、アートを好きになった。</li> <li>・ゲストティーチャーとの出会いから、自由(自遊)にアートを愉しむことができた。</li> <li>・見方を変える視点、変化していく作品で想像力が広がった。</li> </ul>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートを通して地域活性化をしていくには、小学校3年生の発達段階から思いっきり身体全体で絵を描いたり、作品を多方面から概念なしで見立てたりするには丁度よい題材と考えられる。また、地域のイベントや市役所等に、作品展示をすることで地域の場所や人と関わり、児童が地域に目を向けるきっかけになったと考える。</li> </ul>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今回は、学校→地域と広がりをもたせ、学習の場を広げてきた。最終的には、児童が自分達でイベントを企画し、地域との交流会を催すことで、学校⇄地域を目指した活動を進めていく。</p>